

シラバス

授業のタイトル(科目名) 精神保健福祉援助実習指導 I		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)		授業担当者 平川 泰士
授業の回数 30回	時間数(単位数) 60時間(4単位)	配当学年・時期 4学年1・2学期		必修・選択 選択
【授業の目的・ねらい・到達目標】 ・精神保健医療福祉の現場の基本的理解、実習先の基本的理解できるようになる。 ・精神保健福祉士の知識・技術・倫理・法的責務、守秘義務の理解できるようになる。 ・精神保健福祉援助実習の意義について理解できるようになる。 ・精神保健福祉に課題のある人の現状を理解し、その生活実態や生活上の困難について理解できるようになる。 ・実習に関わる個別指導・集団指導を通して、精神保健福祉士の援助の知識・技術について実際に理解し実践的な技術を習得できるようになる。具体的な実習体験を通して、専門職としての価値・倫理に基づき、専門的知識・技術を習得できるようになる。				
【授業計画】				
1	実習記録の目的と方法、守秘義務・職業倫理	16	実習記録・体験を踏まえた振り返り	
2	精神疾患・障害の現状と理解	17	実習記録・体験を踏まえた振り返り	
3	精神保健福祉法等の現状と理解	18	実習を踏まえた課題の整理	
4	社会保障制度等の現状と理解	19	実習を踏まえた課題の整理	
5	実習先にかかる知識・技術の理解と実習計画	20	実習をふまえた精神保健福祉士の視点	
6	職業倫理・法的責務・守秘義務の理解	21	実習をふまえた精神保健福祉士の視点	
7	精神科病院の現状と理解	22	実習をふまえた実習総括レポートの作成	
8	精神保健福祉医療の当事者の理解	23	実習をふまえた実習総括レポートの作成	
9	巡回指導・スーパービジョン	24	実習をふまえた実習総括レポートの作成	
10	帰学指導・スーパービジョン	25	実習をふまえた実習総括レポートの作成	
11	帰学指導・スーパービジョン	26	三者協議会(実習生、指導者、教員)	
12	巡回指導・スーパービジョン	27	実習指導者を含めた実習報告会	
13	帰学指導・スーパービジョン	28	実習指導者を含めた実習報告会	
14	帰学指導・スーパービジョン	29	実習指導者を含めた実習報告会	
15	帰学指導・スーパービジョン	30	実習指導者を含めた実習報告会	
【使用テキスト・参考文献】 別途指定		【単位認定の方法及び基準】 課題作成・実習レポートなど提出課題による評価(60%)、スーパービジョン等での応答・態度・取り組み状況(個人・集団)による評価(40%)を総合し評価		